



島根県安来市で いちご栽培の 新規就農者を募集します！

安来のいちごについて

安来市は、島根県の東端、鳥取県との県境に位置。いちご、水稻等の産地として、多くの特産物を生産しています。

市内のいちご生産者で結成した「やすぎ苺部会」があり、主力品種は、「あきひめ」「紅ほっぺ」「かおり野」の3品種です。

安来のいちごの特徴は、大粒で美味しい点です。着果数の制限と完熟収穫を徹底しています。



就農までの流れ

就農相談
現地体験



師匠研修
(1年間)



実践研修
(約2年間)



自営就農

- ・現地体験：1日～2日程度の農業ミニ体験。しまね農業体験プログラム(※)を利用することが可能。

※公益財団法人しまね農業振興公社に申し込みが必要です

- ・師匠研修：島根県知事認定の指導農業士（師匠）のもとで、マンツーマンの実技指導により技術習得。
- ・実践研修：研修用ハウスを借りて栽培、収穫、販売までの一連の作業を実践的に研修。
- ・自営就農：自身の施設を所有し、経営を開始。就農後も支援チームがしっかりサポート。

就農モデル

土耕栽培のみの場合

栽培用施設 土耕栽培用ハウス4棟（14.4a）

育苗用施設 育苗ハウス1棟（3.2a）

ほか必要設備 作業、資機材施設1棟（0.9a）
その他機械装置（予冷库、自走式動噴、軽トラック 等）

設備投資額 総額：約4,600万円

（1/2補助事業が活用できた場合）

自己資金・借入金
約2,300万円

補助金
約2,300万円

年間総労働時間 約2,690h（労働力：本人1人+臨時雇用者2人）

所得 約260万円（販売額：約890万円）

土耕栽培＋高設栽培の場合

栽培用施設 土耕栽培用ハウス3棟＋高設栽培用ハウス1棟（14.4a）

育苗用施設 育苗ハウス1棟（3.2a）

ほか必要設備 作業、資機材施設1棟（0.9a）
その他機械装置（予冷库、自走式動噴、軽トラック 等）

設備投資額 総額：約5,400万円

（1/2補助事業が活用できた場合）

自己資金・借入金
約2,700万円

補助金
約2,700万円

年間総労働時間 約2,680h（労働力：本人1人+臨時雇用者2人）

所得 約260万円（販売額：約940万円）

☆認定新規就農者となることで、無利子の資金融資制度が利用できます。

※各種補助事業を活用した場合の試算結果です。（R8.9月時点）

就農5年後のモデルであり、所得を保障するものではありません。

農業経営においては、天候等の気象条件や経営者の技術レベルにより、これらの値は変わります。

中古ハウスの活用が可能な場合は、設備投資額を軽減させることができます。

年間栽培スケジュール

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
いちご（育苗用ハウス）							☆☆☆☆					
	×						☆☆☆☆					
いちご（栽培用ハウス）	□□□	□□□	□□□	□□□	□□□	□□	△					□□ □□□

×：親株定植 ☆：採苗 △：定植 □：収穫

求める人材像

- ・ 安来市に住み、いちご栽培での就農を目指す方
- ・ 本気で就農を目指し、家族など周囲の理解・協力を得られる方
- ・ やすぎ苺部会に入り、活動に参加できる方
- ・ 生活費とは別に、300万円程度の自己資金を持っている方
- ・ 地域活動に積極的に取り組める方



移住・就農支援

住 居

- ・研修中、滞在施設（2万円／月）を利用可能です。
- ・安来市定住支援として、お試し住宅、空き家バンクの紹介、改修時に活用可能な制度の紹介もしています。

安来市定住支援サイト ⇒



研修・就農時補助

- ・Uターンしまね産業体験事業
12万円/月、3ヶ月以上1年以内
- ・就農準備資金
165万円/年、最長2年間
- ・経営開始資金
165万円/年、最長3年間

農 地

- ・基本的には、研修中に師匠や関係機関と相談しながら、就農予定地を探します。
- ・関係機関が空き農地・ハウスの情報収集をしており、紹介できる可能性があります。

施設・機械

- ・就農に必要な施設・機械等の整備に対しての支援制度があります。
- ・ハウス等整備事業 費用の1/2助成
- ・経営発展支援事業 費用の3/4助成
- ・自営就農開始支援事業 費用の1/3助成

安来での研修や就農の特徴

①安来市新規就農研修生として認定を受けたのち、島根県知事認定の指導農業士（師匠）のもとで1年間、マンツーマンの実技指導により栽培技術の習得を目指します。



②JAが運営する担い手支援センターの研修用施設を借りて、就農時を想定した実践的な研修を受けられます。また、いちごの生理生態、経営管理等の就農に必要な知識についても座学でしっかり勉強可能です。



担い手支援センターと研修用ハウス

③やすぎ莓部会での共同販売体制が確立しているため、収穫したいちごを安定して販売可能です。

共同販売とは…JAが地域の生産者から農産物を集荷し、サイズや品質を統一して出荷する仕組みです。



専用トレーにて出荷します

いちごの栽培方法

○土耕栽培

苗を地面に直接植える昔ながらの栽培方法です。高設栽培に比べ初期投資を抑えることができます。一方で、作業時に長時間腰をかがめなければならず、負担も少なくありません。



○高設栽培

作業者の腰の高さに栽培ベンチを配置する栽培方法で、近年全国的に普及しています。栽培管理や収穫がしやすく作業性に優れていますが、土耕栽培に比べ初期投資が大きくなります。



新規就農者からの メッセージ

●就農4年目

栽培規模: 16.5a(高設ハウス5棟)
紅ほっぺ、あきひめ、すず、かおり野

○就農のきっかけは？

自然や地域と関わりながら、自分の力で挑戦できる農業に魅力を感じた。安来市の就農支援制度が、新規就農を決断するきっかけとなった。

○就農当初の感想と、現在の感想は？

覚えることが多く、毎日の作業をこなすだけで精一杯。天候や作物の状態に合わせて判断する難しさがあり、うまくいかないことも多かった。一方で、自分で育てたものが形になり、それをおいしいと言ってもらえた時の喜びは大きかった。

少しずつ作業の意味が分かるようになり、工夫したことが結果につながる面白さも感じるようになった。

○大変なこと、楽しいことは？

大変なことは、思い通りにいかない中でも続けなければならないこと。楽しいことは、自分の工夫で少しずつ前に進む実感があること。

●就農希望者へのメッセージ

安来には、いちご栽培を学べる環境と、就農を支えてくれる人たちがいます。相談や研修を通して少しずつ自分らしい農業と暮らしの形を見つけていくことができます。

就農に関するお問い合わせは・・・

安来地域担い手育成総合支援協議会
(安来市農林水産部 農林振興課)

Tel: 0854-23-3331

就農支援制度など、詳しくはこちら

(安来市ホームページ)

